



松 濤 の 風

№ 3 7 . 平成 1 8 年 1 2 月 2 2 日

渋谷区立松濤中学校 SHOTO Junior High School TEL (3469) 2451・2452

<http://academic1.plala.or.jp/shoto/>

【教育目標】 ○みんなを愛する生徒 ○自ら学び考える生徒 ○生き生きと活動する生徒

一年を振り返って

副校長 関口 慶朋

木々の葉も落ちつくし、いよいよ本格的な冬が訪れました。まもなく平成19年を迎えます。この年が自分にとってどんな年であったかを年末にあたり、振り返っていることと思います。ただ感慨深げに思いを巡らすだけでなく、年の初めに決意したことがどれだけ実現できたかを反省する機会でもあります。来年はさらに充実した年にするためにも、一年の反省をしっかりと行うべきだと考えます。

すべての活動には、計画→実行→反省という順序があつて反省を元に、次の計画を立てて、また実行→反省と繰り返されます。これをマネジメントサイクルといいます。(Plan-Do-SeeということからPDSサイクルともいう)学校の教育活動もこのPDSサイクルに沿って行っています。「反省」「評価」というのが普通です。

学校の一年は3月までですので、これから1年間の反省である学校評価を行っていきます。その評価を基にして、次年度の計画を立てるわけです。保護者の皆さんに、先日お願いしました教育活動のアンケートも参考にしながら、よりよい教育活動を目指して、計画を立てて参ります。

さて、本校から生活指導主任の室井教諭が、11月に渋谷区教育振興視察研修の一員として、フィランドを訪れました。作成された研修報告書や実際の話を聞きながらいくつか考えさせられました。2003年度に行われたOECDが実施した学習到達度調査(PISA)は41カ国が参加し、フィランドは読解力1位、科学1位、数学2位の世界第一位を示しました。日本は読解力14位、科学2位、数学6位という成績でした。

PISAの好成績の要因として・教師に信念ややる気がある・全国的に教育水準が平均化していて地域格差、所得格差などがなくどこでも同じ内容の教育が受けられる・EUの中では外国移住者が少ない・読み書きが充実している・教科書の質が高い・読書能力がある等が挙げられています。

また、読解力が高いのは、フィランドの国語教育の根底にある、グローバル・コミュニケーション力の育成を挙げています。グローバル・コミュニケーション力を身につけるために発想力、論理力、表現力、批判的思考力、コミュニケーション力を重視しているそうです。本校の教育活動でも行われていますが、系統立てて整理しながら指導することの大切さを改めて感じました。また、フィランドでは、読書量が多くこれも読解力を高めている要因と考えられます。日本は読書離れが言われて久しいのですが、読書の楽しさや、おもしろさを考えさせたとお思います。

私は税について全くと言っていいほど知識がなかった。あるとすれば「私達が払うもの」としか浮かばない。こんな私に税の作文を書けと言われて、本当に困ってしまった。私は、急いで母に質問をした。「税金って何？」母は、私達国民が国には払っているお金で、それは政治に使われたり、老人に使われたりされているんだと話してくれた。それを聞いた私は少し前のことを思い出した。私は、今年の2月に転校してきたのだが、今まで使っていた、教科書を替えることとなった。今の学校で使われている教科書と違うからだ。新しい教科書は、数日後私の手元に届いた。しかし私は気になることがあった。この数冊ある教科書は、いくらするのだろうかと思い、担任の先生に聞いてみた。すると先生は笑いながら「学校の教科書は無料で、税金で払っているから」と言った。私は、家に帰って母にも、聞いてみた。母の答えも同じだった。私はその時、自分の税についての知識のなさに少し恥ずかしくなった。

そして、その時から少したった今、わたしなりに答えを出してみた。私は小、中学校と鞆に重い教科書を背負って学校に行っている。私は、重い教科書は余り好きではなかった。しかし、教科書は税金で払われていると知った今は、考えが変わって、教科書の重さは税金を払っている人の努力の重さと私は思った。生徒の皆さんならあのおもさをわかると思う。

日本中の教科書を一カ所に集め、持ち上げて欲しいと言われて持ち上げる人はいるだろうか？持ち上げる人はいないと思う。何故なら、みんな教科書がどれだけ重いか想像できるからだ。それだけ税金を払う人は、がんばって働いているのだ。私は、税金を払っている人に感謝したい。もし、税金を払う人がいなかったら、私達生徒は、教科書無しで勉強していたかもしれないからだ。最近では、一人が払う税金が上がり、払いたくない、払えないと言う人が増えているとニュースで見たことがある。人々が皆税金を重荷と考えているからだ。

しかし、私は重荷と考えずに税金を払っていることを誇りに思って欲しいと思う。何故ならこの国はほとんど税金で賄っているからだ。年金、福祉、公園など様々なところで大切に使われているからだ。母から聞いたのだが「政治家の身の回りにも税金が使われている」と言う。政治家を国民が支えているからこそ、この国が成り立っていると思う。だから税金を払っている人も、大人も子供も国を支えている自分を誇りに思って欲しい。今、私も物を買って国を支えているけれど、大人になり、自分の成りたい職に就き働いて税金を払えるまで何年かかかるが、税について考えてから、これから先の未来が明るくなりました。

税についての作文	入選	3年	西口	由貴
税についての作文	入選	3年	溝口	千聖
東京都読書作文コンクール	佳作	1年	小泉	夏海
薬物乱用防止標語の部	佳作	1年	浅野	正大
薬物乱用防止標語の部	佳作	3年	浅野	美樹
地方別生命保険文化センター賞	2等	1年	三宅	桜